



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年05月07日 第1166号「週刊五十嵐レポート」

## 未来は現在とは違う

5月5日付日経新聞、「子どもの人口最少」という記事。総務省は5月5日の「こどもの日」を前に人口推計から子どもの数を発表。15歳未満の男女は4月1日時点で前年より33万人少ない1401万人となった。43年連続減少。12～14歳は317万人、0～2歳は235万人。出生率が低下傾向にあり、子どもの数は減少が続く。総人口に占める割合は11.3%。一方、65歳以上の高齢者の割合は29.2%。

4月25日付朝日新聞、「自治体4割 消滅可能性」という記事。少子化には経済的な理由や働き方、価値観など様々な要因がある。有識者でつくる人口戦略会議は、若年層が希望しても子どもを持たない状況が続けば、人口減少に歯止めがかからないという考え方の下、30年間で20～39歳の女性人口が50%以上減少する自治体を「消滅可能自治体」と名付けた。2020年から2050年までに全国1729自治体の4割にあたる744自治体で「消滅可能自治体」があるとする分析結果を公表。

3月19日付日経新聞、「見えてきた外国人 1割時代」という記事。日本で暮らす外国人が国想定の1.5倍で増えている。現在約320万人で国は欧米並みに人口の1割を超える時期を2067年と想定するが、10年ほど早まるペース(入国超過数を年間25万人で計算すると、30年後に1000万人超となり人口の1割を占めると推計)今の子どもたちが働き盛りになる頃には本格的な多国籍社会となる。

未来について2つしかない。1つは「未来は分からない」。2つ目は「未来は現在とは違う」。未来を知るための方法は2つある。1つは「すでに起こった未来を見ること」。すでに起こったことを観察すれば、その先にある変化(未来)も自ずと見えてくる。2つ目は「自分で未来をつくること」。(ドラッガー)

「ミキハウス」は子供服をより高級化して世界市場を開拓している。ランドセル業界は、価格が年々上昇して市場が拡大、客層を変えて世界市場に打って出ている。「人口の変化」は多様性(ダイバシティ)につながる。人種、性別、年齢、国籍など属性の違いや雇用形態や働き方などの多様性を受け入れ、認め、活かすこと。

ちょっと  
気になる出来事

4月23日付日経新聞、「買い物難民4人に1人」、4月25日付朝日新聞、「都心に買い物弱者」という記事。農林水産省研究所の調査によると、買い物難民人口とは、自宅から500m以内に生鮮食料品店などがなく、車も利用できない65歳以上の高齢者を指す。2020年時点で全国に904万人いると推計。東京圏、名古屋圏、大阪圏で414万人、全国の約46%占める。

商店の廃業、バスや電車等の公共交通機関の廃止で買い物に苦労している人が増加。

行政では、コミュニティバス・乗合タクシーの運行等に対する支援をしている。民間では、移動販売車、宅配、御用聞き、買い物代行サービス等を進めている。四国徳島では「とくし丸」が全国各地のスーパーと提携し、移動販売車を1000台以上展開している。

買い物難民を助けることは尊いこと。しかし、移動販売車で採算を取るのには簡単なことではない。特定の地域に密集して顧客を作る必要がある。買い物難民の所まで行かなければならないが、移動距離(時間)はコスト(ロス)である。地域戦略の巧拙で決まる。



一口メモ  
知識

## 怒りと欲は身を滅ぼす

いかりを懲(こ)らし欲を塞(ふさ)ぐ。(山沢損さんたくそん)

山沢損の卦(か)名「損」は損する、減らすという意味であるが、これは利益についてだけいっているのではない。

ここでは、自らの心に生じた怒りを静め、欲心を塞ぐことの大切さを教えている。

忿怒(ふんど)と欲ほど自分の徳を破り、身を滅ぼすものはない。だから、身の修養を考える時には、まず怒りや欲を損し減らすべきであるといっているのである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

